

令和5年度第1回常磐公園の緑を考える集い 報告書

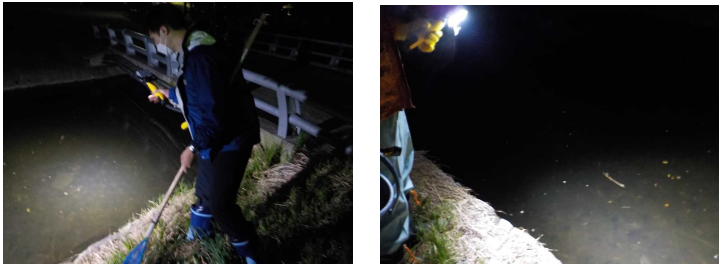
1. 報告事項・意見交換

(1) アズマヒキガエルの調査結果について

5月8日月曜日に公園みどり課職員にて国内外来種アズマヒキガエルの調査を行いました。調査の結果アズマヒキガエルは発見されませんでした。

やはり、例年アズマヒキガエルが多く発見されている神楽岡公園や北彩都ガーデン等と比較すると、常磐公園ではアズマヒキガエルの個体はかなり少ないと考えられます。

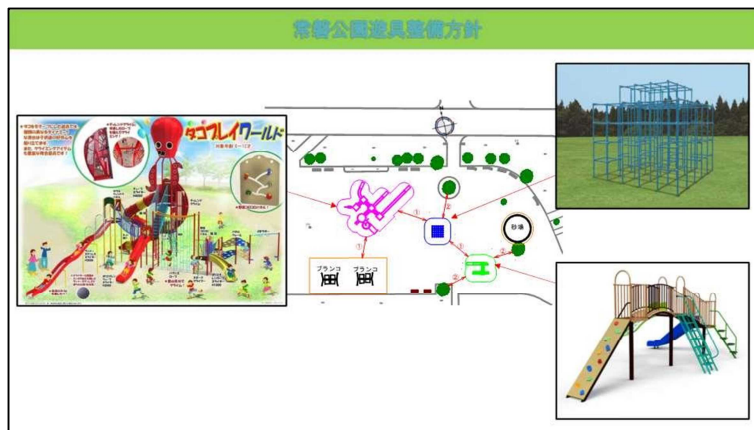
これまで集いや職員で行っている調査で発見されていない状況を踏まえて、来年からは職員で行っているアズマヒキガエルの調査を休止することと致しました。今後カエルの個体が多く発見される等、状況が変わった際には再度調査を再開する検討をといたします。



5月8日アズマヒキガエル調査状況

(2) 常磐公園遊園地の遊具の整備方針について

以前から集いの中でもお伝えしていた、遊園地内にある遊具の整備方針が「常磐公園遊具整備方針」のとおり決定しました。整備方針策定にあたっては常磐公園周辺の小学校や保育園等の子ども達に意見を聴取し、頂いた意見を基に整備方針案を作成し、市のHPやSNS等で意見を募集後、整備方針を策定いたしました。遊具更新工事は令和5年度と令和6年度を予定しており、令和5年度はジャングルジムと複合遊具(図右下)の整備を予定しており、令和6年度はタコ遊具(図左側)の整備を予定しております。



常磐公園遊具整備方針

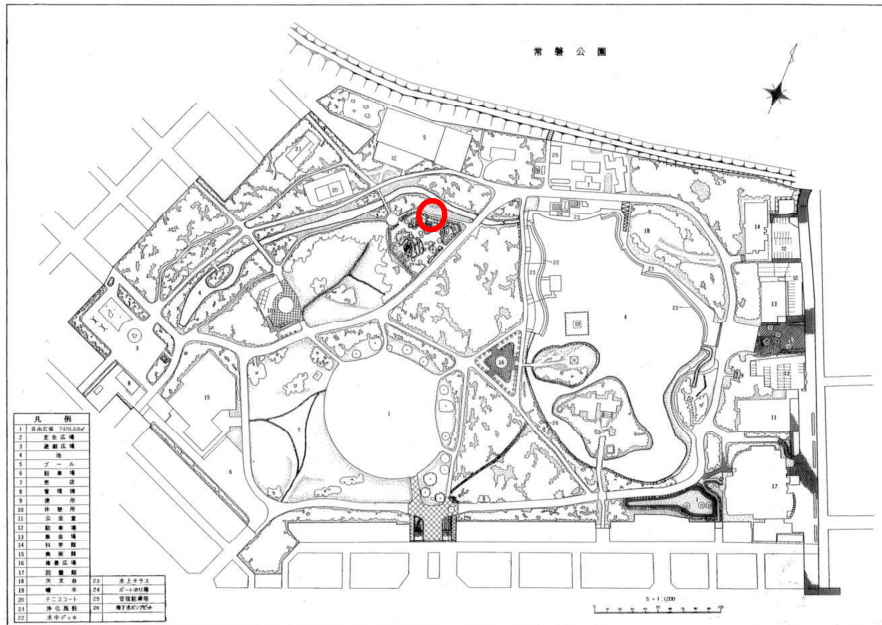
(3) 日本庭園ゾーン外周のマツの間引きについて

日本庭園ゾーンの外周に生えているマツの間引きについて皆様と意見交換をいたしました。マツの間引きについては以前から集いの中で日本庭園ゾーン内の鬱蒼とした雰囲気改善を目的として検討をしていたものになります。マツの間引きについて以下のとおりご意見を頂きました。

皆様から頂いたご意見

- ・ブッシュゾーン周辺のマツについては現状、野鳥が来やすい環境のため間引きしないほうがいいと思います。
- ・少し間引きをした方が野鳥が来やすい環境になると思います。
- ・隣の樹木に抑圧され細くなっているマツについては今後枝折れ等の恐れがあるため間引きした方がいいと思います。

頂いたご意見について皆様と議論した結果、一部の範囲については野鳥の来やすい環境も考慮し、間引きする本数を削減することとした上で、間引きするマツは抑圧されたマツを優先することと致しました。



○ 間引き削減範囲

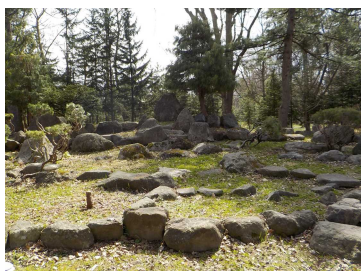
(4) 旭川市の虫「カンタン」について

カンタンについて塩田先生より解説していただきました。ブッシュゾーンを観察したところ、以前よりもヨモギが多く群生しており、カンタンの生息する環境としてよくなってきていることから、8月頃にブッシュゾーンにくると鳴き声が聞けるかもしれないとのことでした。次回の集いは8月頃を予定しておりますので、その時にみなさんでカンタンの鳴き声が聞こえるか観察したいと思います。

また、昨年の集いの中で常磐公園内に定住化しているカンタンが少ないことから、別の場所でカンタンの捕獲作業を行い、常磐公園に放して常磐公園での定住化を促す作業を行いますというお話しをしておりましたが、別の場所から移動して放すのはカンタンにとってよくないという意見があったことから、捕獲作業については止めることといたしました。

(5) 日本庭園ゾーンのアジサイの植栽について

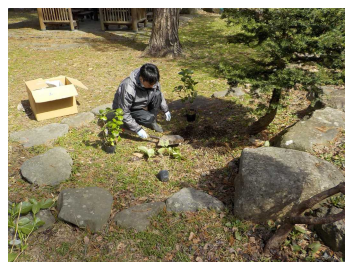
アジサイの植栽については昨年の集いの中で、今年度アジサイを試験的に植えて成長具合を見ながら次年度以降も検討を進めていくとしたものになります。4月21日に日本庭園ゾーンにアジサイを植栽いたしました。アジサイは集いの参加者の西さんより提供いただきました。



4月21日植栽作業前



植栽作業後



作業状況

(6) オオハンゴンソウの調査結果について

以前、オオハンゴンソウが多く群生していたプール裏について草刈りされる前に公園みどり課職員と公園緑地協会職員でオオハンゴンソウが生えているか確認しましたが、オオハンゴンソウは確認されませんでした。これまでみなさんで行った集いの活動の成果によるものだと思います。

これまでオオハンゴンソウの繁殖状況について、みなさんと確認をしておりますが、全く発見されていないことから、来年からはオオハンゴンソウの調査について休止することといたしました。また、オオハンゴンソウが発見されるなど状況が変われば駆除作業の再開を検討することといたします。

2. 日本庭園ゾーンの除草作業

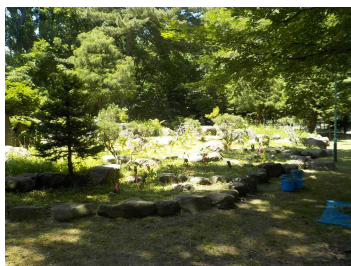
4月21日に植栽したアジサイ周りの除草作業を行いました。

除草作業後はアジサイがキレイに見えるようになりました。

植栽したアジサイについては適正に維持管理した上で、今後も集いの中で見守っていききたいと思います。



除草作業状況



除草作業後

3. 昨年移植した実生の観察

昨年、自然更新ゾーンから移植したハルニレの実生を観察しました。ハルニレは順調に成長しておりました。今後も集いの中で実生を見守っていきたいと思います。

次回の集いの中で以前移植した実生の「カンタロウ」のように名前をつける予定ですので、もし良い名前の案がありましたら、ぜひ提案してください。



実生の観察